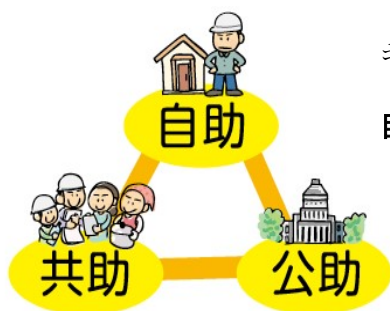


「地震のはなし・土砂災害のはなし・命を守るはなし・要配慮者のはなし」



キーワード **命を守る**

自助 → ・ 携行品・非常持ち出し品・備蓄品(こだわりの品)

食品は3日分の備蓄 薬は手帳のコピーなど

- ・ 我が家が安全か確認する(地形的・耐震的)
- ・ 家の中の安全性を高める(耐震補強・家具転倒防止金具設置・家具の配置換え)
- ・ 防災訓練への参加・自宅での訓練
- ・ メールなどの登録など、情報入手方法の確認



共助 → 要配慮者支援の考え方

◆ 多様でしかも日々変化誰もが災害時には要配慮者になりえる

☆ 災害時の要配慮者とは…

乳幼児・児童 妊産婦

施

外国人・障がい者・難病者

高齢者

福祉避難所に入る前に、要配慮トリアージ実施

ほとんどの方は地域の避難場所に入ります。

◆ 自治組合・民生児童委員さんと顔見知りですか？

公助 → アレルギー除去食(ミルク・米を2日分)

駒ヶ根市では災害時避難協定を様々な関係支援先と結んでいるそうです。

医薬品については、上伊那薬剤師会と連携。 医療機関については、中南信の病院と連携。

まとめ : 障害は様々あり必要とされる支援は個々に違います。この書面では紹介しきれない濃い内容が書かれているレジュメがありますので必要な方はご連絡ください。そしてぜひお住いの民生児童委員さんと一度お話をしてください。駒ヶ根市では小さなサークル毎でも防災のお話をさせていただきます。「何かしないと!!」と思われた方のお手伝いをしますので遠慮なくお問合せ下さい。